



大 山

学校だより No.8
平成26年11月26日
大館市立花岡中学校

『教育目標～郷土に誇りを持ち、主体的・創造的に生きようとする生徒の育成』

新しい生徒会 本格的にスタート

先月、生徒会役員立会演説会が開かれました。それぞれの役職の立候補者は、「真心のある言動をとりたいたい。」「あいさつや礼儀の手本になりたい。」「自分ができることを、最後まで精一杯やりたい。」など、花岡中学校を最後までよりよい学校にするため、取り組んでいきたいことを語りました。また、責任者は、立候補者の人柄などを堂々と演説しました。

6日に後期生徒会役員の任命式があり、新役員と新委員長に3年生からそれまで活動に使っていたノートとともに仕事が引き継がれました。そして、これまで頑張ってきた3年生に「これから1・2年生が花中をリードしていきます。安心して受検勉強に取り組んでください。」と生徒会長からねぎらいの言葉がありました。新しい生徒会執行部は委員会や学級と協力しながら、それぞれの活動を通して、花中をしっかり締めくくってほしいと願っています。

新執行部が初めて取り組む後期生徒総会が、14日に行われました。はじめに浪岡生徒会長から「感謝の気持ちを伝え、最後の花中を盛り上げるため、一生懸命活動する執行部をめざす」との方針が出されました。その後執行部や各委員長から提案があり、質問や意見がたくさん出され、活発な話し合いが行われました。



新生徒会長



議長団



各委員長



活発な話し合い



真剣に聞く生徒たち

新生徒会役員・各委員会・学級役員のみなさん

執行部	生徒会長：浪岡龍太郎 事務局長：藤盛葵星	副会長：中村雅哉 事務局員：阿部騎士	三浦瑞紀
中央委員会	委員長：阿部妃依 委員：小坂渉太	副委員長：小坂涼太 三浦環菜	書記：伊藤 翼 鳥潟ころこ
学習委員会	委員長：柴田愛美香 委員：鳥潟優歩	副委員長：藤盛建都 畠澤慎也	書記：阿部俊輔 浅利颯汰 成田絢音
広報委員会	委員長：加藤瑠維 委員：佐々木俊哉	副委員長：藤垣龍太郎 大森芽依	書記：三浦 諒 小坂玲奈 藤盛綾菜 畠澤太遥 中村充紀
環境委員会	委員長：鳥潟 海 委員：畠澤淳也	副委員長：桜庭 萌 山本玲太郎	書記：鳥潟拳斗 藤盛天斗 菅原二千花 泉 悠斗 小畑翔汰 安保柚花 藤盛菜穂
学級役員	3年A組 委員長：小坂渉太 2年A組 委員長：阿部妃依 1年A組 委員長：伊藤 翼	副委員長：三浦環菜 副委員長：小坂涼太 副委員長：鳥潟ころこ	

産業文化祭芸能発表会 ～全校で感謝の気持ちを伝えました～



アンコールが二度も



力強いよさこいソーラン



元気にスマイル！



会場から大きな拍手



2日は花岡公民館産業文化祭芸能発表会でした。花岡中学校として出演できる最後の機会、全校生徒で参加しました。吹奏楽と英語暗唱、全校合唱の予定でしたが、花中祭のよさこいソーランがとても好評で、阿部公民館長さんや地域の方から、「産業文化祭でもやってもらえれば大変盛り上がる」と、とてもうれしいお話があり、プログラムに加えてもらいました。

最後に全員で花中校歌を 当日は、よさこいソーランや吹奏楽演奏、全校合唱にアンコールの声がかかるなど、地域の皆様にとっても喜んでいただきました。最後に、花中の校歌を卒業生の皆様・地域の方々、中学生と一緒に歌い、会場が一つになりました。

「基礎確認タイム」スタート ～次の目標をめざして～



緊張感あふれる3年生



集中する2年生



学び合う1年生

18日から12月3日までの予定で「基礎確認タイム」が始まりました。4月からこれまでの学習をしっかり復習しようと計画しました。帰りの会後の20分間、真剣に取り組んでいます。1・2年生の教室には先生のほか、数名の3年生が先生役になって勉強を教えています。この時間が終わった後も教室に残って学習を続ける3年生がおり、自分の進路実現のため頑張っている様子が見られます。

教育委員・社会教育委員訪問



2年生 理科

18日、大館市の教育委員と社会教育委員の皆様が本校を訪問されました。授業を見ていただいた後、学校の取り組みや生徒の様子について懇談しました。

本校の「ふるさとキャリア教育」の取り組みである「東京でのPR活動」や「鳥潟会館ガイドボランティア」などにより、生徒の人間関係形成力・コミュニケーション能力が高まってきているとお褒めの言葉をいただきました。

12月の行事予定

2	火	あいさつ運動(保護育成委員) 教育相談 ALT訪問
3	水	教育相談
4	木	学習状況調査(1・2年) 実力テスト(3年)
5	金	振替休業日(29日)
9	火	3年生三者面談(~19日)
12	金	校内球技大会
16	火	1・2年生三者面談 (~22日)
23	火	天皇誕生日 アンサンブルコンテスト
25	木	2学期終業式
26	金	冬季休業(~1月13日)

救急救命講習・薬物乱用防止教室開催



実演に注目



練習開始



リズムよく



「AED、作動！」

先月23日、助けが必要な人に出会った時、助けられる人になることを目的に、救急救命講習が行われました。今回は、大館市消防署北分署から5名の方々においでいただき、「救命入門コース」の指導をしていただきました。はじめは心肺蘇生法の「胸骨圧迫」で、人形を使い一定のリズムで圧迫し続ける練習をしました。AEDの使用方法は、倒れている人への声掛けに始まり、AEDをもってきてもらったり、救急車をよんでもらうなど、周りの人たちに協力を求めながら、必要に応じてAEDを作動させるということ学びました。どちらも生徒全員が体験しました。最後に隊員の方から、「予防に努めて病気を未然に防ぐことが第一だが、万が一の時は早期に発見して通報・心肺蘇生することが救命につながる」というお話がありました。



講師の金沢先生

1日には、大館市立総合病院薬剤師、金沢久男先生をお招きして薬物乱用防止教室を開催しました。タバコ・アルコール・覚醒剤の健康への影響について、専門家の立場から分かりやすくお話をしていただきました。覚醒剤は「絶対ダメ」、タバコは「よいことは何もない」、アルコールは「百薬の長」や「適量」という言葉に惑わされないようにすることなどを強調されていました。

参加した生徒の感想を紹介します。

- ・薬物にはいろいろな薬があり、お酒やタバコを飲み続けるといろいろな病気になることが分かりました。これからはタバコなどを吸わず、健康な体でいたいと思います。（1年 藤盛 天斗さん）
- ・お酒やタバコはやり過ぎると依存してやめることができなくなるし、危険ドラッグを使ったら、捕まってしまうので、絶対にしないと思いました。（2年 畠沢 太遥さん）
- ・お酒やタバコの恐ろしさを知ることができました。薬物は「だめだ」ということはわかっていただけ、どうなるのかを詳しく知ることができました。（3年 菅原二千花さん）

エコバッグ講習会 ～新聞紙だけでこんなにすてきなバッグが～



これがエコバッグ



「折る順番は？」



「作業は楽しい」



二個目に挑戦



できばえに満足

「新聞紙をつかってすてきなエコバッグを作ってみませんか」と花矢図書館の小笠原泰子さんからお誘いを受け、学習委員がエコバッグづくりの講習会に参加しました。当日は比内図書館の岸真実子さんにも手伝っていただきながら本校で開催しました。

完成したときのデザインを考えながら新聞紙を選び、折ってのり付けして袋の形を作ります。持ち手は新聞紙を斜めに折りたたんで棒のようにし、形や長さを整えて取り付けます。新聞紙とのりがあれば作ることができ、本当に「エコ」な「バッグ」でした。参加した生徒たちは作品のできばえに満足し、とても楽しい講習会となりました。

29日(土)は中学校へおいでください

授業参観・学年懇談・花岡保・小・中PTA合同研修会

29日に学期末の学年PTAが行われます。学年懇談では学校から生徒たちの2学期の様子をお伝えした後、今後の勉強の進め方や家庭での過ごし方について、保護者の皆様と語り合います。

その後、花岡保・小・中PTA合同研修会が開催されます。今年の講演は子育てについてのお話です。保育所・小学校・中学校の保護者が同じお話を聞き、子どもたちを地域全体で育てていこうというきっかけになればと考え企画しました。案内を差し上げた保・小・中の保護者だけでなく、地域の方々にもおいでいただければ、さらに意味のある会になると思います。どうか遠慮なくおいでください。

期 日 11月29日(土)

日 程 授業参観 12:35~13:25
(1・3年生:体育館 2年生:教室)

学年懇談 13:35~14:35 (各教室)

研 修 会 14:45~16:00 (会議室)

講 師 サンプルトスポーツスイミングクラブ理事長 藤田 保隆 氏

演 題 「子どものもっているよさを見つけられれば」



ガイドボランティアにうれしい声が届きました

秋田さきがけ新報「声の十字路」欄に、八戸市の柳谷さんが「感動続きの旅 生徒らに感謝」という題で、本校生徒の鳥潟会館ガイドボランティアのことについて書いてくださいました。どうか、ご一読ください。

これまで生徒たちと先生方が一緒に取り組んできたことをこのような形で評価していただき、本当にありがたいことです。

11月5日 水曜日

秋 田 さ き が け

声の十字路

感動続きの旅
生徒らに感謝
柳谷 典男 62歳
(青森県八戸市、
会社役員)

北秋田市と大館市を巡る旅に出掛けた。目的は秋田内陸線に乗ることだった。
初日、阿仁前田駅から乗車した。錦秋の山々、澄んだ溪流を電車が走り、その景色はまさしく旅番組で見たそのものだ。沿線の方々の旅人を迎える温かい心、内陸線を愛する心が伝わってきた。
その後、宿泊先の大館市内のホテルから頂いた「本場大館きりたんぼまつり」のチケットを手到大館樹海ドームへ向かった。フードコーナーで

は、お客さんが食事を終えるたびに中学生がふきんでテーブルを拭いていた。そのまじようめんさと真面目さに感銘した。
翌日は鳥潟会館に立ち寄った。中学生や教師ら十数人が「ガイドをさせてください」と声を掛けてきた。その気持ちがいかにうれしかった。ガイドを務めた2人の女子生徒は元気がよく、爽やかに館内を案内してくれた。
樹海ドームや鳥潟会館での生徒の姿は、素晴らしい一言に尽きるものだった。秋田内陸線の感激、そして生徒がくれた大きい感動を胸に帰路に就くことができ、感謝している。ありがとう。

